

科 目	必・選	担 当 教 員	学年・学科	単位数	授 業 形 態											
実用英会話 (Practical English Conversation)	必	森岡 隆	1 年生 メカトロニクス工学専攻 エコシステム工学専攻	学修単位 2	後期 週 2 時間											
授業概要	教科書及び LAN 教材を用いて、特に「聴く」「読む」の 2 技能について英語力の伸長を図る。具体的には TOEIC の模擬問題の演習を通して、短時間で必要な情報を聴き取ったり、読み取ったりする能力の充実を図る。TOEIC の団体特別受験 (IP テスト) を実施して、個々の英語力向上の短期目標とする。また英会話に親しむ時間をじょじょに増やし、「話す」面にも慣れる。															
到達目標	① 社会生活やビジネス現場でよく使われる英語表現に慣れ、それを聞いたり読んだりした時に要点を理解できる。 ② 日常生活で最低限のコミュニケーションができ、ビジネスでも限られた範囲で活用できる。															
評価方法	試験 60%、予習の状況・授業中の参加状況・課題進捗 40% 小テストを実施した時は後者に加える。TOEIC の IP 試験や公開試験で 400 点以上を取得した場合、もしくは前期末に実施した TOEIC IP テストの点数に、50 点以上の増加があった場合、点数に応じて評価に加算する。															
教科書等	① 水本篤、Mark Stafford 著 <i>Successful Keys to the TOEIC Test 3</i> (2nd ed.) (桐原書店) ② 早川幸治著『新 TOEIC テスト書き込みドリル【全パート入門編】』(ピアソン桐原)															
内 容	(110 分授業を 15 回実施する。なお、1 回の自宅演習は 240 分を目処にする。)				学習・教育目標											
第 1 回	Unit 5		(自宅演習)		D											
第 2 回	Unit 5, Unit 6		(自宅演習)		D											
第 3 回	Unit 6		(自宅演習)		D											
第 4 回	Unit 7		(自宅演習)		D											
第 5 回	Unit 7, Unit 8		(自宅演習)		D											
第 6 回	Unit 8		(自宅演習)		D											
第 7 回	Unit 9		(自宅演習)		D											
第 8 回	Unit 9, Unit 10		(自宅演習)		D											
第 9 回	Unit 10		(自宅演習)		D											
第 10 回	Unit 11		(自宅演習)		D											
第 11 回	Unit 11, Unit 12		(自宅演習)		D											
第 12 回	Unit 12		(自宅演習)		D											
第 13 回	<TOEIC IP 受験>		(自宅演習)		D											
第 14 回	Unit 13		(自宅演習)		D											
第 15 回	Unit 13		(自宅演習)		D											
(特記事項) 90 分授業の場合は、上記内容を 15 週間に 18 回の授業で行う。																
						JABEE との関連										
						JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
						本校の学習	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
						・教育目標								◎		

ガイダンス： *What is TOEIC Test?*

TOEIC (Test of English for International Communication) は、世界規模で行なわれている「英語でのコミュニケーション能力」を計るテストです。ビジネスと日常英語に関する問題が主に出題されます。現在では、多くの企業がこのテストのスコアを人事査定に用いており、昇進や転職に際して、基準の一つになっています。大学でも授業のクラス分けなどに利用する所が増えています。

TOEICの団体試験であるIPテストを、7月と1月に実施します。専攻科1年生には全員受験してもらいます。また、公開試験も各自奮って受験してください。そうして、皆さんの英語力測定に役立てるとともに、実力向上の目標にするよう望みます。

TOEICテスト問題の構成と仕組み

Section 1 : Listening 45分/100問 (最低得点5点 —— 最高得点495点)

Part I 写真描写問題 (Pictures) 10問

4つの説明文を聞き、写真を正しく説明している文を1つ選ぶ。

Part II 応答問題 (Question-Response) 30問

質問文を聞き、次に3つの応答を聞き、正しい応答を1つ選ぶ。

Part III 会話問題 (Short Conversations) 30問

2人の会話を聞き、テストブックに記載された設問と4つの選択肢を読み、正答と思われるものを1つ選ぶ。

Part IV 説明文問題 (Short Talks) 30問

アナウンスや短いスピーチを聞いた後、テストブックの該当する設問を読み、4つの選択肢から正答と思われるものを1つ選ぶ。1つのアナウンスやスピーチについて、関連した設問が2～3問用意されている。

Section 2 : Reading 75分/100問 (最低得点5点 —— 最高得点495点)

Part V 文法・語彙問題 (Incomplete Sentences) 40問

短文の空所を埋めるのに最も適切な単語・語句を、4つの選択肢から1つ選ぶ。

Part VI 長文穴埋め問題 (Text Completion) 12問

長文の空所にあてはまる語句を、4つの選択肢から1つ選ぶ。

Part VII 読解問題 (Reading Comprehension) 48問

<1つの文書 (Single passage) 28問; 2つの文書 (Double Passage) 20問>

社内回覧・ビジネスレター・表・グラフ・広告文・通知文・求人案内・雑誌の記事・機械の説明仕様…などの様々な英文を読み、これに基づく2～4個の関連設問への解答を4つの選択肢から1つ選ぶ。

合計： 120分/200問 (最低得点10点 —— 最高得点990点)

TOEICテストに必要なのは、英語の知力・気力・体力！

2時間で200問の質問に答えるのですから、単なる英語の知識ではなく、瞬時に反応できる「使える英語力」が必要です。さらに、集中力を持続させる“気力”と、英語の“体力”がなくてはなりません。

効果的な勉強法——「音読筆写」

ただ英文を理解するだけでなく、使える英文を頭に刷り込む必要があります。そのためには身体のあらゆる器官を使うのが効果的です。耳からCDなどで英語を聴く、目で英文を見る、手で英文を書く、そして口で英文を読む、これらの活動を繰り返し集中して行なうことで、脳を活性化させましょう。